

津野町で秋のウォーキング

11月18日、津野町にて、黒潮町スポーツ推進委員引率のもと「秋のウォーキング」が行われました。今回は四万十川の源流を目指して紅葉を楽しみながら歩きました。



源流の碑を背景に集合写真。次回、春のウォーキングは4月に実施予定です。皆様のご参加をお待ちしております。

前日の雨が上がり、陽の光が気持ちよく降り注いでいましたが、山の中は意外に寒く、防寒着を着込みながらの山歩きとなりました。源流を目指すため、上り坂のきつい道のりでしたが、参加者同士の交流を楽しみながら源流点へたどりつきました。源流点は神秘的な雰囲気、この小さな流れが清流四万十川へと続いていくのだと感慨深い思いにふけりました。寒さに負けず歩き続けた参加者は「いい運動になった」と心地よい疲れを楽しんでいました。

上川口小でギターコンサート

11月29日、上川口小学校にて、ギター奏者の村治奏一さんの訪問コンサートが行われました。特定非営利活動法人ミュージック・シェアリング(五嶋みどり理事長)が、音楽家との交流やコンサートを聴く機会の少ない子どもたちのために行っている訪問プログラムで、同小学校では昨年度から2年にわたって4回シリーズで行われ、この日が最後の開催日でした。



楽器体験コーナーでは、村治さんが弦を抑え、小学生が弦をはじいて「禁じられた遊び」を演奏。上手に音を出していました。

父親がギター奏者で、生まれた時からギターが身近にあったという村治さん。上川口・南郷・伊田小学校の4・5・6年生ら約70人を前に、クラシックギター1本で、ジャズやタンゴなどいろいろなアレンジの6曲を披露しました。

小学生俳句大会 入選作品発表

11月24日、大方あかつき館で「第7回黒潮町小学生俳句大会」の表彰式が行われました。「うたの道つくりの会」(宮川昭男会長)の主催。今年、町内6校、159人の児童から401句の応募があり、入選作品15句と佳作作品13句が選ばれました。



表彰式に参加した受賞者ら。宮地暖菜さん(前列右)は、2句が入選しました。

どの句も、黒潮町の豊かな自然や日常生活を、みずみずしい感性で切り取ったすてきな作品ばかりで、宮川会長が1句ずつ読み上げると、その情景が目には浮かんできました。入選作品は、11月末まで同館に展示された後、大方球場から西へ50mの「うたの道」区柱に順次掲示されます。ぜひご鑑賞ください。

【第一席】

運動会 マストに登れていい景色
伊田小4年 宮地暖菜

【第二席】

秋の山 絵具にはない色もある
伊与喜小5年 藤原功丞

【第三席】

イチヨウの葉 思い出の数積もつてく
上川口小6年 畠中愛未

【入選】

いねかりに みんなでいくよ さあしゅっぱつ
伊田小1年 千葉 雛
あきまつり おどると父さん おもしろい
南郷小2年 酒井 瞭

てんびしおトマトにつけるとおいしいよ
佐賀小3年 土居 翼

墓参り ひいばあちゃんが待っている
伊田小4年 宮地暖菜

くりの実はいがのよろいに守られる
伊田小4年 松下千登世

秋の山もようがえして オシヤレかな
伊与喜小5年 矢野忍武

赤とんぼ 少しつかれて木にとまる
伊与喜小5年 藤原功丞

どこからか やさしくにおうきんもくせい
伊与喜小6年 森田菜月

田をみると 稲刈りとったあとがある
伊田小6年 亀井幹斗

授業中 足すりぬける秋の風
伊田小6年 松本遥果

運動会 参加したいと 赤トンボ
入野小6年 土居優奈

夕やけの空を背にして 帰つてく
上川口小6年 金子 雅